



平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月15日

上場取引所 東

上場会社名 オープンハウス

コード番号 3288 URL <http://openhouse-group.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒井正昭

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 今村仁司

TEL 03-6213-0776

四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	54,993	54.2	7,557	224.7	7,072	259.8	4,203	230.2
25年9月期第2四半期	35,669	—	2,327	—	1,965	—	1,272	—

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 4,203百万円 (237.3%) 25年9月期第2四半期 1,246百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	150.00	146.52
25年9月期第2四半期	67.26	—

(注)

1. 当社は、平成25年9月期第2四半期につきましては、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表を作成しておりませんが、参考情報として、平成25年9月期第2四半期の実績及び平成26年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しております。

2. 当社は、平成25年6月28日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を計算しております。

3. 平成25年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、新株予約権は存在するものの、当社株式は平成25年9月期第2四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	86,918	—	33,466	—	33,466	38.5
25年9月期	78,069	—	29,963	—	29,963	38.4

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 33,466百万円 25年9月期 29,963百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年9月期	—	0.00	—	25.00	25.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年9月期(予想) 配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	18.6	13,700	34.5	12,600	37.3	7,700	36.0	274.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期2Q	28,025,000 株	25年9月期	28,025,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年9月期2Q	— 株	25年9月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期2Q	28,025,000 株	25年9月期2Q	18,925,000 株
----------	--------------	----------	--------------

(注) 当社は、平成25年6月28日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が持ち直しに向かい、各種経済政策の効果が下支えするなかで家計所得や投資の増加傾向が続くなど、景気回復の動きがみられました。一方で海外景気の下振れや、消費税率引き上げに伴う反動減などが国内景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループが属する住宅不動産業界におきましては、消費マインドの改善等もあり新設住宅着工戸数は堅調に推移しました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高54,993百万円、営業利益7,557百万円、経常利益7,072百万円、四半期純利益4,203百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(不動産仲介事業)

不動産仲介事業につきましては、平成26年3月に11店舗目の営業拠点となる北千住営業センターを出店しました。平成25年10月に開設した西葛西営業センターに続き、東京城北・城東地区の重要な営業拠点の一つと位置付け、事業拡大に注力しました。これらの結果、売上高は1,373百万円、営業利益は840百万円となりました。

(不動産販売事業)

不動産販売事業につきましては、引き続き厳選した仕入れを行い、良質な住宅をリーズナブルな価格で供給することに努めてまいりました。これらの結果、売上高は53,429百万円、営業利益6,705百万円となりました。

販売形態別の状況は次のとおりです。

販売形態	棟数・戸数	売上高 (百万円)
新築一戸建住宅分譲	278	11,610
土地分譲	380	16,782
建築請負	200	3,112
マンション分譲	224	14,768
不動産流動化	—	7,026
その他	—	129
合計	—	53,429

(不動産金融事業)

不動産金融事業につきましては、売上高は190百万円、営業利益76百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は86,918百万円となり、前連結会計年度末と比較して8,848百万円増加しました。これは主として、不動産販売事業において仕入が順調に進んだことにより、販売用不動産が523百万円増加、仕掛販売用不動産が12,789百万円増加したことによるものであります。

負債の合計は53,452百万円となり、前連結会計年度末と比較して5,346百万円増加しました。これは主として、短期借入金が増加した7,682百万円増加したことによるものであります。

純資産の合計は33,466百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,502百万円増加しました。これは、利益剰余金が配当金の支払により700百万円減少した一方で、四半期純利益の計上により4,203百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて6,193百万円減少し、19,656百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、8,931百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益7,072百万円を計上した一方で、仕入が順調に進んだことにより、たな卸資産が13,300百万円増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2,150百万円となりました。これは主として、定期預金の預入による支出2,000百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、4,844百万円となりました。これは主として、短期借入れによる収入等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月7日の発表から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,077	21,656
営業未収入金	276	195
販売用不動産	6,928	7,451
仕掛販売用不動産	35,802	48,592
営業貸付金	4,700	4,728
その他	2,591	2,401
貸倒引当金	△89	△89
流動資産合計	76,286	84,936
固定資産		
有形固定資産	315	397
無形固定資産	205	178
投資その他の資産	1,227	1,381
固定資産合計	1,748	1,957
繰延資産	33	24
資産合計	78,069	86,918
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,561	2,701
短期借入金	15,253	22,936
1年内返済予定の長期借入金	7,271	5,982
1年内償還予定の社債	1,380	340
未払法人税等	2,812	2,889
引当金	729	826
その他	5,646	5,202
流動負債合計	35,655	40,878
固定負債		
社債	400	500
長期借入金	11,944	11,987
引当金	9	9
その他	96	76
固定負債合計	12,450	12,573
負債合計	48,105	53,452

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,972	3,972
資本剰余金	5,873	5,873
利益剰余金	20,159	23,662
株主資本合計	30,005	33,508
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	7
為替換算調整勘定	△46	△48
その他の包括利益累計額合計	△41	△41
純資産合計	29,963	33,466
負債純資産合計	78,069	86,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	54,993
売上原価	44,053
売上総利益	10,940
販売費及び一般管理費	3,382
営業利益	7,557
営業外収益	
受取利息	4
受取配当金	0
為替差益	50
その他	26
営業外収益合計	81
営業外費用	
支払利息	410
支払手数料	86
その他	69
営業外費用合計	566
経常利益	7,072
税金等調整前四半期純利益	7,072
法人税等	2,868
少数株主損益調整前四半期純利益	4,203
四半期純利益	4,203

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,203
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1
為替換算調整勘定	△2
その他の包括利益合計	△0
四半期包括利益	4,203
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	4,203

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成25年10月1日
 至 平成26年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	7,072
減価償却費	64
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0
引当金の増減額 (△は減少)	97
受取利息及び受取配当金	△4
為替差損益 (△は益)	△42
支払利息	410
売上債権の増減額 (△は増加)	80
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△13,300
仕入債務の増減額 (△は減少)	140
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△28
その他	△243
小計	△5,752
利息及び配当金の受取額	2
利息の支払額	△397
法人税等の支払額	△2,783
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,931
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△2,000
定期預金の払戻による収入	150
有形固定資産の取得による支出	△122
無形固定資産の取得による支出	△13
投資有価証券の取得による支出	△101
敷金及び保証金の差入による支出	△85
敷金及び保証金の回収による収入	27
その他	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,150
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	25,035
短期借入金の返済による支出	△17,352
長期借入れによる収入	5,974
長期借入金の返済による支出	△7,220
社債の発行による収入	294
社債の償還による支出	△1,240
配当金の支払額	△700
その他	54
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,844
現金及び現金同等物に係る換算差額	44
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,193
現金及び現金同等物の期首残高	25,850
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,656

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 仲介事業	不動産 販売事業	不動産 金融事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,373	53,429	190	54,993	—	54,993
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,198	—	—	1,198	△1,198	—
計	2,572	53,429	190	56,192	△1,198	54,993
セグメント利益	840	6,705	76	7,622	△64	7,557

(注) 1. セグメント利益の調整額△64百万円には、セグメント間取引消去18百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△83百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。